

2020年6月12日

課題名：脳卒中データバンクと多施設データベースを用いたくも膜下出血の研究
：転帰予想と検証研究

◆研究の目的と概要◆

本研究は、くも膜下出血患者のデータを解析することで、将来的に破裂前、いわゆる未破裂脳動脈瘤患者の治療指針、基準を立て直すことを目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2000年1月から、2019年12月までの間に、くも膜下出血であると診断された方。

◆研究に使用される情報・試料◆

病歴、患者背景、頭部CT、CTアンギオ、転帰

◆研究方法◆

上記の情報資料を、患者さんの氏名などがわからないようにしたうえで、下記機関に対し電子的配信（パスワード管理）で提供します。

◆主な共同研究機関及び研究責任者◆

島根県立中央病院井川房夫医師が主体となって実施しており、全国12施設が参加しています。

主体のホームページ

<https://www.spch.izumo.shimane.jp/hospital/chiken/culiguide.html>

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
脳神経外科 研究責任者 上野 弥波

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明